



難防除多年生雑草にも高い効果！

4葉期のノビエも、枯らす。
あなたの除草は、強くなる。



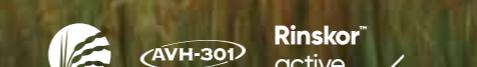
バイエル クロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262
<https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎ 0120-575-078
9:00~12:00, 13:00~17:00 土日祝日および会社休日を除く

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

第3版

P-3048 24.02.NY



®ストレングスはバイエルグループの登録商標
TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標



1kg入



4kg入

はじめに

ストレングス[®]1キロ粒剤はバイエルクロップサイエンス(株)が開発したトリアファモンとバイエルクロップサイエンス(株)、全国農業協同組合連合会、北興化学工業(株)が共同開発したテフリルトリオンおよびダウ・アグロサイエンス(現コルテバ・アグリサイエンスTM)によって開発されたリンズコアTM(一般名:フロルピラウキシフェンベンジル)を含む3種混合の初・中期一発剤です。

トリアファモンは、ノビエのほか、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ等の難防除多年生雑草およびエゾノサヤヌカグサ・キシュウスズメノヒエ等の難防除多年生イネ科雑草に対して高い効果を示します。

テフリルトリオンは、一年生広葉雑草、ホタルイ、多年生広葉雑草や難防除雑草のクサネム、イボクサに高い効果を示します。

リンズコアTMは、一年生ならびに多年生広葉雑草に高い除草効果を示す新規のホルモン型除草剤です。

本剤は、これら3成分を配合した散布適期幅が広く、殺草スペクトラムの広い初・中期一発剤です。

本資料は、ストレングス[®]1キロ粒剤をご理解いただくため、特長を簡単にまとめたものです。

ご試験・ご検討の一助になれば幸いです。

ストレングス[®]1キロ粒剤の特長

3成分で高い除草効果

広い散布適期幅
(移植後5日～ノビエ4葉期)

ノビエへの高い除草効果 (殺草効果・残効性)

速い殺草スピード
(クサネム・イボクサ・アメリカセンダングサ)

SU抵抗性雑草に対する 高い除草効果 (ホタルイ・コナギ・アゼナ類・ミズアオイ等)

匍匐性雑草への高い除草効果
(キシュウスズメノヒエ・エゾノサヤヌカグサ・アシカキ)

難防除雑草への高い除草効果 (クログワイ・オモダカ・コウキヤガラ・アメリカセンダングサ等)

直播水稻にも使用可能
(イネ1葉期～ノビエ4葉期)

有効成分の物理化学性と安全性

有効成分名	トリアファモン	テフリルトリオン	フロルピラウキシフェンベンジル	
除草剤分類	2(アセト乳酸合成酵素(ALS)阻害)	27(白化:4-HPPD阻害)	4(インドール酢酸様活性)	
化学生名	2'-[4-(4,6-ジメトキシ-1,3,5-トリアジン-2-イル)-カルボニル]-1,1',6'-トリフルオロ-N-メチルメタシスルホニアリド	2-[2-クロロ-4-メシリ-3-[(テトラヒドロフラン-2-イルメトキシ)メチル]ベンジル]シクロヘキサン-1,3-ジオン	ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6-(4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル)-5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート	
構造式				
物理 性 化 学 的	性状	白色粉末	淡黄色粉末	黃褐色粉末
	融点(℃)	105.6℃	113.7～115.4℃	137.1℃
	水溶解度(℃)	33mg/L(pH7,20℃)	64.2g/L(pH7,20℃)	0.015mg/L(20℃)
原 体 安 全 性	急性毒性	経口ラット♂♀ LD ₅₀ > 2,000mg/kg 経皮ラット♂♀ LD ₅₀ > 2,000mg/kg	経口ラット♀ LD ₅₀ > 2,500mg/kg 経皮ラット♂♀ LD ₅₀ > 2,000mg/kg	経口ラット♀ LD ₅₀ > 5,000mg/kg 経皮ラット♂♀ LD ₅₀ > 5,000mg/kg
	水産動植物	コイ LC ₅₀ > 76.9mg/L(96hr) オオミジンコ EC ₅₀ > 35.3mg/L(48hr) 藻類 ErC ₅₀ 6.24mg/L(0-72hr)	コイ LC ₅₀ > 99.3mg/L(96hr) オオミジンコ EC ₅₀ > 99.6mg/L(48hr) 藻類 ErC ₅₀ 5.3mg/L(0-72hr)	コイ LC ₅₀ > 41.4μg/L(96hr) オオミジンコ EC ₅₀ > 62.3μg/L(48hr) 藻類 ErC ₅₀ > 42.4μg/L(0-72hr)

製剤の安全性

■人畜への安全性：

普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
急性経口毒性(ラット) LD₅₀(♀) > 2,000mg/kg体重
皮膚刺激性(ウサギ) 刺激性なし
眼刺激性(ウサギ) 刺激性あり
皮膚感作性(モルモット) 感作性なし(ただしフロルピラウキシフェンベンジルに皮膚感作性あり)

■水産動植物への影響：

コイ LC₅₀(96hr) > 1,000mg/L
オオミジンコ EC₅₀(48hr) > 1,000mg/L
藻類 ErC₅₀(0-72hr) 274mg/L

目次

はじめに／目次	2
ストレングス [®] 1キロ粒剤の特長／有効成分の物理化学性と安全性／	
製剤の安全性	3
ストレングス [®] 1キロ粒剤の適用雑草と使用方法および注意事項／	
後作物薬害に関する注意事項	4
ストレングス [®] 1キロ粒剤の殺草スペクトラム／	
ストレングス [®] 1キロ粒剤の適用時期一覧	5
トリアファモンの特性／テフリルトリオンの特性／リンズコア TM の特性	6
ストレングス [®] 1キロ粒剤の除草効果／ストレングス [®] 1キロ粒剤の水稻安全性	7
ストレングス [®] 1キロ粒剤の特長～移植水稻～	8
ストレングス [®] 1キロ粒剤の上手な使い方～移植水稻～	13
ストレングス [®] 1キロ粒剤の特長～直播水稻～	14
ストレングス [®] 1キロ粒剤の上手な使い方～直播水稻～／	
鉄コーティング直播栽培での除草剤処理のポイント	16
MEMO	17

ストレングス[®]1キロ粒剤の適用雑草と使用方法および注意事項

農林水産省登録: 第24577号

試験名: BCH-191-1kg 粒

有効成分: テフリルトリオン 3.0% [除草剤分類 2]

トリアファモン 0.50% [除草剤分類 2]

フルピラウキシフェンベンジル 0.45% [除草剤分類 4]



製品情報はこちら

性状: 類白色~淡褐色細粒

毒性: 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

2024年2月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用量	使用時期	使用回数*	使用方法
移植水稻	一年生および多年生雑草	1kg/10a	移植後5日~ノビエ4葉期 ただし、移植後30日まで	本剤: 2回 テフリルトリオン: 2回	湛水散布 または無人航空機による散布
				トリアファモン: 2回 フルピラウキシフェンベンジル: 3回	
直播水稻	一年生雑草 および、マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ		稻1葉期~ノビエ4葉期 ただし、収穫90日前まで		

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項

■ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきって下さい。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの4葉期までに、時期を失しないように散布して下さい。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれがるので、必ず適期に散布するようにして下さい。マツバイは7葉期まで、ホタルイは4葉期まで、ヘラオモダカは5葉期まで、ミズガヤツリは草丈25cmまで、ウリカワは4葉期まで、ヒルムシロは発生盛期まで、セリは再生期まで、クログワイは草丈20cmまで、オモダカは矢じり葉3葉期まで、コウキヤガラは発生始期から草丈30cmまで、キシュウスズメノヒエは再生茎3葉期まで、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、シズイは草丈3cmまでが本剤の散布適期です。また、ミズアオイは4葉期まで、コナギは3葉期までが本剤の散布適期です。クログワイ、オモダカ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは、十分な効果を示ないので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用して下さい。
- 敷布の際は、水の出入りを止めて十分な湛水状態(水深3~5cm)のままで、まきむらが生じないように均一に散布して下さい。また、極端な浅水や深水での使用はさけて下さい。
- 無人航空機で散布する場合は、次の注意を守って下さい。
 - ① 敷布は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
 - ② 専用の粒剤散布装置によって湛水散布して下さい。
 - ③ 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整して下さい。
 - ④ 敷布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m離れた位置から、ほ場内に散布して下さい。
 - ⑤ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意して下さい。
 - ⑥ 敷布後3~4時間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7時間は落水、かけ流ししないで下さい。また、入水は静かに行って下さい。
 - ⑦ 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付作業は丁寧に行って下さい。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧に行って下さい。

●以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけて下さい。

- ① 砂質土壤の水田および漏水田(減水深2cm/以上)
- ② 軟弱苗を移植した水田
- ③ 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさけて下さい。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないで下さい。
- 薬害を生じるおそれがあるので、後作物としてなす、たまねぎおよびさやえんどうを栽培しないで下さい。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意して下さい。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用して下さい。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■ 安全使用上の注意事項

- 誤食などのないよう注意して下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合は直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体质の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

後作物薬害に関する注意事項

ストレングス[®]1キロ粒剤は一部の後作物について、生育に影響(薬害)を及ぼす可能性があり、使用上の注意事項に以下の内容が含まれています。

・薬害を生じるおそれがあるので、後作物としてなす、たまねぎおよびさやえんどうを栽培しないで下さい。

これらの作物栽培のある地域での本剤の取り扱いには、十分ご注意下さい。

ストレングス[®]1キロ粒剤の殺草スペクトラム

処理時期	一年生雑草												多年生雑草											
	ノビエ	カヤツリグサ	*コナギ	*ミズアオイ	*アゼナ	*キカシグサ	*ミヅハコベ	クサニム	イボクサ	ヒメミンハギ	アメリカセンダングサ	*マツバイ	*ホタルイ	ミズガヤツリ	*ウリカワ	ヒルムシロ	セリ	*オモダカ	クログワイ	コウキヤガラ	シズイ	キシュウスズメノヒエ		
移植後5日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ノビエ4葉期	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

*付の草種はスルホニルウレア系除草剤抵抗性雑草を含む。

1: 本剤の一回使用では完全に防除できない場合があるので、これらの雑草の防除には有効な薬剤との組み合わせで使用する。

◇ ストレングス[®]1キロ粒剤は、SU抵抗性雑草を含むほとんどの水田雑草に高い効果を示しました。ストレングス[®]1キロ粒剤の適用時期一覧

雑草名	適用時期
ノビエ	4葉期まで
コナギ	3葉期まで
ミズアオイ	4葉期まで
マツバイ	7葉期まで
ホタルイ	4葉期まで
ヘラオモダカ	5葉期まで
ミズガヤツリ	草丈25cmまで
ウリカワ	4葉期まで
クログワイ	草丈20cmまで
オモダカ	矢じり葉3葉期まで
ヒルムシロ	発生盛期まで
セリ	再生期まで
コウキヤガラ	発生始期から草丈30cmまで
キシュウスズメノヒエ	再生茎3葉期まで
エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
シズイ	草丈3cmまで

難防除雑草の解説動画をYouTubeで公開しています。是非ご覧下さい。

こんな草、生えていませんか?
地下茎で広がるカヤツリグサ科雑草

防除必須! 飼育雑草とはどんな雑草?



トリアファモンの特性

■トリアファモンの特長

- ◆ トリアファモンは、バイエルプロップサイエンス(株)が開発した新規のスルホンアニリド系のALS阻害剤です。
- ◆ 高葉齢のノビエに対して優れた除草効果を発揮するとともに、長い残効性を示します。
- ◆ 難防除多年生雑草(クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ)に対して、高い除草効果を示します。
- ◆ 難防除多年生イネ科雑草(キシュウスズメノヒエ、エゾノサヤヌカグサ)に対して、高い除草効果を示します。
- ◆ 既存のSU抵抗性バイオタイプの雑草に対して除草効果を示します。
*Trp574変異のバイオタイプに対しては、他の新規ALS阻害剤と同様に実用的な除草効果は期待できません。
- ◆ イネに対して高い安全性(生理的な選択性)を有します。
*雑草の体内では代謝により多くの活性本体が生成されるが、水稻体内では、活性本体がほとんど生成されないため、雑草と水稻の間に生理的な選択性を示します。



トリアファモンの解説動画をYouTubeで公開しています。是非ご覧下さい。

テフリルトリオンの特性

■テフリルトリオンの特長



テフリルトリオンの解説動画をYouTubeで公開しています。是非ご覧下さい。

テフリルトリオンは雑草の根部、幼芽部、茎葉基部より吸収されます。雑草体内では光合成電子伝達系経路のプラストキノンの生合成に関与する4-HPPDに作用して、雑草の生育を抑制し、白化症状を発現して枯死させます。

- ◆ テフリルトリオンは、バイエルクロップサイエンス(株)、全国農業協同組合連合会、北興化学工業(株)が共同開発した4-HPPD阻害剤です。
- ◆ 一年生広葉雑草、ホタルイ、多年生広葉雑草のほか、イボクサ、クサネム等の特殊雑草に対して、高い効果を示します。
- ◆ 難防除多年生雑草(クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ)に対して高い除草効果と塊茎形成抑制効果を示します。

リンズコア[™](一般名: フロルピラウキシフェンベンジル)の特性

■リンズコア[™]の特長

Rinskor[™] active

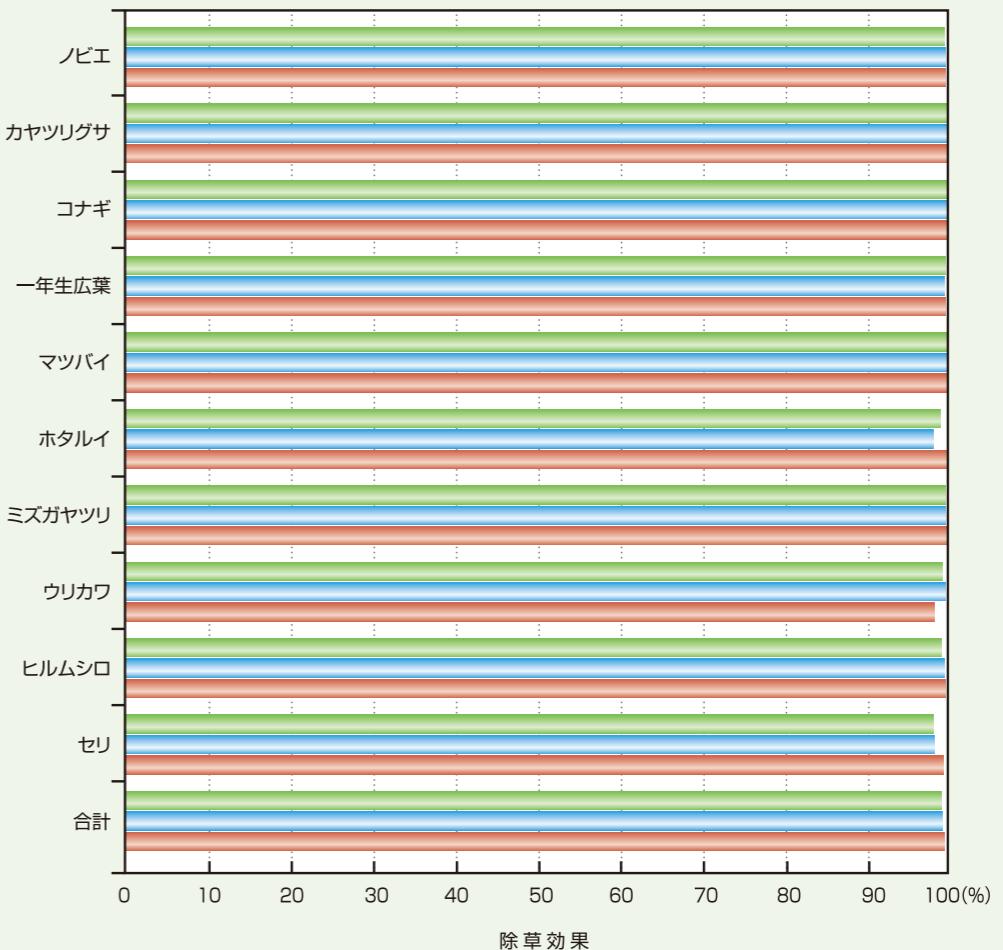
米国ダウ・アグロサイエンス(現コルテバ・アグリサイエンス[™])によって開発されたリンズコア[™](一般名: フロルピラウキシフェンベンジル)は、新たな骨格を有する合成オーキシンで、ノビエ、広葉雑草、一部のカヤツリグサ科雑草に高い効果を発揮します。本有効成分はオーキシン類似の作用により除草効果を示しますが、既存の合成オーキシンと異なる受容体に結合することが分かっています。このユニークな作用機構のため、従来のホルモン剤では効果が期待できなかったノビエに対しても高い活性を示し、既存除草剤に抵抗性を発達させた雑草に対しても、効果が期待できます。

【合成オーキシンとは】

植物を伸長させるオーキシン(インドール酢酸)によく似せて人為的に合成した物質。植物のオーキシン作用を乱して枯殺します。

ストレングス[®] 1キロ粒剤の除草効果

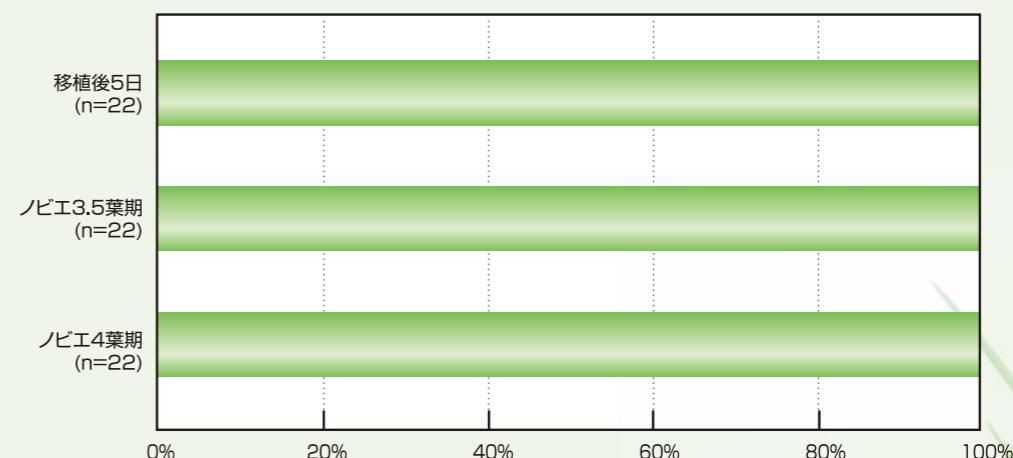
■委託試験結果概要 / 2019 - 2020年



◇ 移植後5日～ノビエ4葉期の処理において、全ての供試雑草に対して極大の除草効果を示しました。

ストレングス[®] 1キロ粒剤の水稻安全性

■委託試験結果概要 / 2019 - 2020年



◇ ストレングス[®] 1キロ粒剤の水稻安全性は非常に高く、移植後5日～ノビエ4葉期の処理において、問題となる薬害は認められませんでした。

ストレングス® 1キロ粒剤の特長
～移植水稻～

■除草効果／早期試験

一発処理



無処理区(移植後49日) 3葉期処理(処理後30日) 3.5葉期処理(処理後28日) 4葉期処理(処理後26日)

社内試験(2020年、茨城県)

- 移植日: 4月23日
- 処理日: ノビエ 3葉期: 5月12日(移植後19日)
ノビエ3.5葉期: 5月14日(移植後21日)
ノビエ 4葉期: 5月16日(移植後23日)

◇ ストレングス®1キロ粒剤は、ノビエ3葉期～4葉期の処理において供試雑草に対して高い除草効果を示しました。
◇ 問題となる薬害は、認められませんでした。

■除草効果／普通期試験

一発処理



無処理区(移植後40日) 3葉期処理(処理後30日) 3.5葉期処理(処理後29日) 4葉期処理(処理後27日)

社内試験(2020年、茨城県)

- 移植日: 6月4日
- 処理日: ノビエ 3葉期: 6月14日(移植後10日)
ノビエ3.5葉期: 6月15日(移植後11日)
ノビエ 4葉期: 6月17日(移植後13日)

◇ ストレングス®1キロ粒剤は、ノビエ3葉期～4葉期の処理において供試雑草に対して高い除草効果を示しました。
◇ 問題となる薬害は、認められませんでした。

初期剤との体系処理



無処理区(移植後55日)

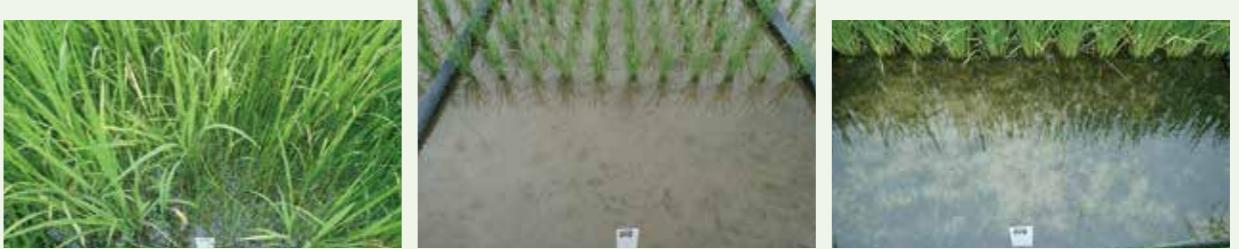
A剤 ➔ ストレングス®1キロ粒剤処理時
(移植後21日)A剤 ➔ ストレングス®1キロ粒剤処理後34日
(移植後55日)

社内試験(2020年、茨城県)

- 移植日: 4月23日
- 処理日: 初期剤(A剤): 4月24日(移植後 1日)
本 剤: 5月14日(移植後21日)
- 雑草葉齢: ホタルイ: 2.1葉期
マツバイ: 3cm
ウリカワ: 3.1葉期
オモダカ: 3.2葉

◇ ストレングス®1キロ粒剤は、初期剤(A剤)との体系処理において供試雑草に対して高い除草効果を示しました。
◇ 問題となる薬害は、認められませんでした。

初期剤との体系処理



無処理区(移植後55日)

A剤 ➔ ストレングス®1キロ粒剤処理時
(移植後20日)A剤 ➔ ストレングス®1キロ粒剤処理後35日
(移植後55日)

社内試験(2020年、茨城県)

- 移植日: 6月4日
- 処理日: 初期剤(A剤): 6月 5日(移植後 1日)
本 剤: 6月24日(移植後20日)
- 雑草葉齢: ノビエ: 3.0葉期 ノガ: 4.2葉期
ホタルイ: 10cm
ミズガヤツリ: 4.2葉期
ウリカワ: 6.2葉期
オモダカ: 4.5葉 クログワイ: 16cm

◇ ストレングス®1キロ粒剤は、初期剤(A剤)との体系処理において供試雑草に対して高い除草効果を示しました。
◇ 問題となる薬害は、認められませんでした。

初期剤との体系処理



無処理区(移植後55日)

B剤 ➔ ストレングス®1キロ粒剤処理時
(移植後21日)B剤 ➔ ストレングス®1キロ粒剤処理後34日
(移植後55日)

社内試験(2020年、茨城県)

- 移植日: 4月23日
- 処理日: 初期剤(B剤): 4月24日(移植後 1日)
本 剤: 5月14日(移植後21日)
- 雑草葉齢: ホタルイ: 1葉期
ウリカワ: 3.5葉期
オモダカ: 3.2葉
クログワイ: 5cm

◇ ストレングス®1キロ粒剤は、初期剤(B剤)との体系処理において供試雑草に対して高い除草効果を示しました。
◇ 問題となる薬害は、認められませんでした。

初期剤との体系処理



無処理区(移植後55日)

B剤 ➔ ストレングス®1キロ粒剤処理時
(移植後20日)B剤 ➔ ストレングス®1キロ粒剤処理後35日
(移植後55日)

社内試験(2020年、茨城県)

- 移植日: 6月4日
- 処理日: 初期剤(B剤): 6月 5日(移植後 1日)
本 剤: 6月24日(移植後20日)
- 雑草葉齢: ホタルイ: 7cm
ミズガヤツリ: 4.0葉期
ウリカワ: 6.5葉期
オモダカ: 5.5葉
クログワイ: 19cm

◇ ストレングス®1キロ粒剤は、初期剤(B剤)との体系処理において供試雑草に対して高い除草効果を示しました。
◇ 問題となる薬害は、認められませんでした。

ストレングス® 1キロ粒剤の特長 ~移植水稻~

■一年生広葉雑草・イヌホタルイに対する除草効果

一発処理



無処理区



ノビエ3.5葉期処理



ノビエ4葉期処理

◇ ストレングス® 1キロ粒剤は、コナギ、キカシグサ、ミズハコベ、SU抵抗性イヌホタルイに対しても高い除草効果を示しました。

■ミズアオイに対する除草効果

一発処理



無処理区

ノビエ3.5葉期処理
(ミズアオイ2.2~2.8葉期)ノビエ4葉期処理
(ミズアオイ3.4~3.8葉期)

◇ ストレングス® 1キロ粒剤は、3葉期以上のミズアオイに対しても高い除草効果を示しました。

■クログワイ、オモダカに対する除草効果

体系処理

移植当日 → 移植後29日 (草丈: ~30cm)



対照区 (初期剤:C剤)



C剤 → ストレングス®1キロ粒剤



C剤 → D剤

◇ ストレングス® 1キロ粒剤は、生育の進んだクログワイ、オモダカに対して高い除草効果を示しました。

■コウキヤガラに対する除草効果

体系処理

移植当日 → 移植後30日 (草丈: ~35cm)



対照区 (初期剤:C剤)



C剤 → ストレングス®1キロ粒剤



C剤 → D剤

◇ ストレングス® 1キロ粒剤は、生育の進んだコウキヤガラに対して高い除草効果を示しました。

■アメリカセンダングサに対する除草効果

2葉期処理



無処理区

ストレングス®1キロ粒剤
(処理後17日)ストレングス®1キロ粒剤
(処理後28日)

社内試験(2020年、茨城県)
●処理日: 4月13日(2葉期、10cm)

◇ ストレングス® 1キロ粒剤は、アメリカセンダングサに対して非常に高い除草効果を示しました。

■クログワイ、オモダカに対する殺草症状

2葉期処理



無処理区

ストレングス®1キロ粒剤
(処理後2日)

社内試験(2020年、茨城県)
●処理日: 4月13日(2葉期、10cm)

●水管理: は種後から出芽まで浅水(水深0.5~1cm)で管理した。
出芽後は、水深1~2cm程度で管理し、薬剤処理後は水深3cmで管理した。

◇ ストレングス® 1キロ粒剤は、アメリカセンダングサに対して速効的に捻転症状を発現し、その後枯死に至りました。

ストレングス[®]1キロ粒剤の特長
～移植水稻～

■多年生イネ科雑草に対する除草効果

一発処理 移植後5日処理

アシカキ キュウスズメノヒエ



無処理区

社内試験(2020年、高知県)
 ●移植日: 6月11日
 ●処理日: 6月16日(移植後5日)
 ●中干し: 7月22日~8月7日(移植後41日~57日)
 ●処理時葉齢: アシカキ: 発生始期(5cm)
 キュウスズメノヒエ: 3葉期(14cm)
 ●撮影日: 8月13日(処理後58日)

ストレングス[®]1キロ粒剤

M剤

◇ストレングス[®]1キロ粒剤は、アシカキ、キュウスズメノヒエに対して非常に高い除草効果を示しました。

体系処理 初期剤移植当日処理 → 移植後15日処理

アシカキ キュウスズメノヒエ



無処理区

社内試験(2020年、高知県)
 ●移植日: 6月11日
 ●処理日: 初期剤: 6月11日(移植当日)
 本剤: 6月26日(移植後15日)
 ●処理時葉齢: アシカキ: 3葉期(23cm)
 キュウスズメノヒエ: 5葉期(28cm)
 ●撮影日: 8月13日(処理後48日後)

C剤 → ストレングス[®]1キロ粒剤

C剤 → F剤

◇ストレングス[®]1キロ粒剤は、初期剤(C剤)との体系処理によりアシカキ、キュウスズメノヒエに対して非常に高い除草効果を示しました。

各種初期剤との体系処理

アシカキ キュウスズメノヒエ



無処理区

C剤 → ストレングス[®]1キロ粒剤G剤 → ストレングス[®]1キロ粒剤H剤 → ストレングス[®]1キロ粒剤I剤 → ストレングス[®]1キロ粒剤

社内試験(2020年、高知県)
 ●移植日: 6月11日
 ●処理日: 初期剤: 6月11日(移植当日)
 本剤: 6月26日(移植後15日)
 ●撮影日: 8月13日(処理後48日)

◇ストレングス[®]1キロ粒剤は、初期剤との体系処理によってアシカキ、キュウスズメノヒエに対して非常に高い除草効果を示しました。

ストレングス[®]1キロ粒剤の上手な使い方
～移植水稻～

■移植水稻・早期栽培

一発処理



体系処理



◇本剤の使用時期は、移植後5日からノビエ4葉期まで。ただし、移植後30日までです。
 ◇圃場の雑草発生程度を確認し適正な除草剤散布に努めて下さい。

■移植水稻・普通期栽培

一発処理



体系処理



◇本剤の使用時期は、移植後5日からノビエ4葉期まで。ただし、移植後30日までです。
 ◇圃場の雑草発生程度を確認し適正な除草剤散布に努めて下さい。

ストレングス® 1キロ粒剤の特長 ～直播水稻～

■特殊雑草に対する除草効果／鉄コーティング直播栽培(ノビエ4葉期処理)

試験方法



ジーフィーポットでクサネム、イボクサ、アメリカセンダングサを育成し、
薬剤処理前にポットごと試験区内に移植した。

除草効果



社内試験(2020年、茨城県)
●は種量: 4kg／10a
●は種日: 5月21日
●処理日: 6月4日(ノビエ4葉期、播種後14日)

◇ ストレングス®1キロ粒剤は、クサネム、イボクサ、アメリカセンダングサに対して捻転などの
症状を示すとともに、非常に速い殺草スピードを示しました。

■特殊雑草に対する除草効果／鉄コーティング直播栽培(ノビエ4葉期処理)

除草効果



無処理区(播種後39日)



ストレングス®1キロ粒剤(処理後26日)

社内試験(2020年、茨城県)
●は種量: 4kg／10a(点播)
●は種日: 5月21日
●処理日: 6月4日(ノビエ4葉期、播種後14日)

◇ ストレングス®1キロ粒剤は、鉄コーティング直播水稻栽培のノビエ4葉期処理において、ク
サネム、イボクサ、アメリカセンダングサを含めた供試雑草に対して高い除草効果を示すと
共に、高い作物安全性を示しました。

■水稻に対する安全性／鉄コーティング直播栽培(イネ1葉期処理)



完全除草区(播種後28日)



ストレングス®1キロ粒剤(処理後17日)

社内試験(2019年、茨城県)
●は種量: 4kg／10a
●は種日: 8月30日
●処理日: 9月10日(イネ1葉期、播種後11日)

◇ ストレングス®1キロ粒剤はイネ1葉期処理において、完全除草区と比較すれば若干の分け
つ抑制が認められたが、その後回復し問題となる薬害は認められませんでした。

ストレングス® 1キロ粒剤の上手な使い方 ~直播水稻~

memo.

初・中期処理



- ◇ 本剤の使用時期は、稻1葉期からノビエ4葉期まで。ただし、収穫90日前までです。
- ◇ 初・中期処理の場合、気象条件・圃場条件によっては後期剤散布を省略でき、省力化・低成本化が図れる場合があります。
- ◇ いずれの場合も、圃場の雑草発生程度を確認し適正な除草剤散布に努めて下さい。

鉄コーティング直播栽培での除草剤処理のポイント

- ◆ 雜草が多発する圃場では、耕起前に非選択性除草剤で雑草を防除する。
- ◆ 整地・均平化、土壤硬度を調整する。(苗立ち確保)
- ◆ 畦畔からの漏水を防ぐ。(薬剤の流亡を防ぐ)
- ◆ 初期剤を、は種同時に散布し作業終了後に速やかに入水する。
- ◆ 除草剤散布後7日間は落水しない。(薬剤の流亡を防ぐ)
- ◆ 芽出しの為の落水は田面が軽くひび割れる程度にし、稻の直根が土中に伸びるようにする。(苗立ち確保・薬害回避)
- ◆ イネ1葉期以降に、雑草の発生状況に応じて有効な初・中期剤を散布する。
- ◆ イネ4葉期頃に3~5日間落水し、早期に有効茎数(穂数)を確保する。
- ◆ 穂数確保を条件に、イネ7~8葉期に深水管理(20cm程度)する。(登熟向上)



ストレングス® 1キロ粒剤

memo.

memo.